

河川事業の再評価概要書

() は、前回再評価時

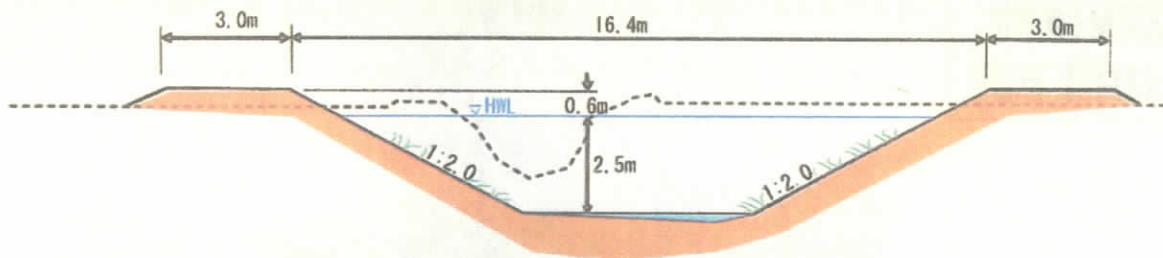
河川事業の再評価概要書			番 号	2
			事業主体	栃 木 県
事業名	安全な川づくり事業		事業所管課	県土整備部 河川課
路線・河川名	一級河川 <small>まきかわ</small> 巻川		事業箇所名	<small>おおたわらし</small> 大田原市
事業区間	<small>おおたわらしなかだわら</small> 大田原市中田原地先～ <small>おおたわらしとみいけ</small> 大田原市富池地先		事業延長	2,657m
平成14年度事業化			平成17年度用地着手	平成22年度工事着手
事業期間	H14 ～ H36	事業 進 捗 状 況	基準年次：【平成28年度末時点】	
[うち用地補償費]	[1.7億円]		(うち用地補償費)	[1.7億円]
全体事業費	11.5億円		既投資事業費	7.8億円 68%
事業概要				
<p>巻川は、那須塩原市木曾畑に源を発し、大田原市街地を経て、一級河川那珂川支川簾川に合流する河川である。計画区間は流下能力が不足していることから、台風・豪雨時には洪水により氾濫し、家屋や農地に浸水被害が生じている。</p> <p>このため、本事業では掘削・築堤等を行い、河積を拡大することにより、氾濫を防止し浸水被害の解消を図る。</p>				
事業を巡る社会経済情勢の変化、事業計画の大幅な変更等				
流域内において、大きな土地利用の変化はなし。				
事業の投資効果				
① 費用対効果分析結果		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】	
1) 事業全体	B/C= 5.8	79.8億円	13.7億円	[L=2,657m 区間]
2) 残事業	B/C= 4.4	14.9億円	3.4億円	[L=1,277m 区間]
② 事業の整備効果等 整備を図ることにより、宅地や農地の浸水被害が解消される。				
事業の進捗状況等				
① 事業の進捗状況 事業延長2,657mのうち、下流端から1,380mの整備が完了している。				
② 今後の事業進捗の見込み 今後の事業については、計画的に整備が進められる見込みである。				
コスト縮減等				
① コスト縮減方策 河川工事で発生した土砂は、他事業へ流用し、工事費の縮減を図る。				
① 代替案立案等の可能性 全区間の用地を既に取得している。また、下流より順次整備を実施中である本計画が最適である。				
事業の対応方針 (案)	現計画で事業を継続する。			

事業箇所(位置図、概要図)

位置図



標準断面図



概要図

計画流量	2~25m ³ /s
現況流下能力	5~85m ³ /s



①出水状況
上深田橋上流



②改修前
舟山橋下流



③改修後
舟山橋下流

